

令和7年度「教育課程等に関する企業様とのWeb意見交換会」報告書

開催日時：令和7年8月26日（火） Web意見交換会（13：00～14：30）

テーマ：「産業界が短大へ求める資質や知識並びに本学の教育等への取組みについて」の意見交換

会場：Web会議

出席企業：8社13名

本学出席：教職員9名

学長	村山 理一	進路相談課長	本行 義洋
短大 教務部長	弘中 大介	進路相談課 係長	塩屋 佳宏
短大 学科長	吉原 克枝	進路相談課	鶴留 かおり
短大 就職委員長	矢野 健太郎	経営企画課 課長	長谷川 太郎
短大 事務長	小松 時浩		

1. 実施の目的

本学は「For all the students ～すべての学生生徒のために」を経営理念とし、「丁寧な教育」を戦略の一つとして掲げ、教職員協働体制で学生指導にあたることを、中期経営計画で定めている。本学では「情報の短大」として、ITを活用できる優れた人材の育成を目指し、PBL（課題解決型学習）を取り入れたプログラミング中心の教育を展開しており、また、令和3年度には、短期大学として全国で初めて、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において、「リテラシーレベル」に加え「応用基礎レベル」の認定を受けた。こうした取り組みをさらに発展させ、教育の質を一層高めるとともに、本学の教育方針である「丁寧な教育」の実現を目指すため、企業の皆様から、学生に求める資質や知識、本学の教育内容等について、率直なご意見をいただき、本学の教育の質をより一層向上させていく狙いである。

2. Web意見交換会

進行及び趣旨説明（吉原）

(1)学長挨拶

(2)自己紹介

(3)学科紹介（弘中）

(4)就職の取組み（矢野）

(5)企業様との意見交換

①事前アンケート2に基づいた教育課程に関する意見交換・・・弘中担当

②事前アンケート1に基づいた就職支援に関する意見交換・・・矢野担当

(6)総評（学長）

3. 企業との意見交換会

2. 卒業するまでに身につけておいたほうがいいこと、また教育内容やカリキュラム等に関して要望されること

《企業 1》

会社では互いにチームを組んでプロジェクトを組み仕事をこなしていくことが多い為、グループ 2～3 人でコミュニケーションをとりながら仕事を行うスキルが必要になってくる。

《企業 2》

仕事はチームワークによって完成させるものであるため、チームで何かを成し遂げる経験を積んでおいて貰えると役立つし、逆に失敗経験があることも非常に大事である。失敗体験があるとそういう経験に対する打たれ強さや挫折からの復活に期待できる。

《企業 3》

当社では、先輩社員とチームを組んで開発を行っており、新入社員はその先輩方に教わりながら業務をすることになる。同級生だけでなくいろいろな年齢層への対応を経験してほしい。(授業以外での課外活動等)

《企業 4》

弊社は、社員同士のコミュニケーション能力も大事になるが、やはり、仕事をする上での要件定義が大事になるので、要望を実現するために具体的にどのような方向性・手順でシステムを構築していくべきか、誰が見ても理解できるように文書化することを学ぶ必要がある。また、AI が話題になっているが、AI を扱える人材の採用を検討中。

《企業 5》

コミュニケーション能力は必要。弊社に入社した福工大短大卒業生はグループワークスキルが高く評価している。会社にはシステム部があるが資格は会社で取ってもらう。

《企業 6》

短大生は 2 年間という短い期間での学生生活の為、身につけるスキルはなかなか高くないことが多い。スキルに関しては、会社で研修できることから、物事に自信をもって取り組む力を身につけてほしい。

《企業 7》

会社で半年間の座学とその後の OJT で専門知識を習得するので特に資格については問題なし。コミュニケーションに関しては大事で、また、仕事や業種に対して興味をもって取り組むことが大事になってくる。

《企業 8》

弊社の仕事は情報の活用や情報を守るのが仕事である。AI については AI を活用させていくことが課題となっている。業務に対してプロフェッショナルの知識をもっていくことが大事。

1. 学生の採用に当たってどのような点を重視しますか。

《企業1》

仕事をする上で自分自身の成長とその仕事が誰かの役に立っていることを感じ取れるか。またそういうことに価値を見出し望んで行っているか大事である（利他精神）。

《企業2》

コミュニケーションを円滑に取れることは大事である。近年、都合が悪くなった時に現実から逃げる社員が多くなったことから、出席率の高い学生（休まない）や休みの対応（理由がある、はっきりと説明ができる）がきちんとできる学生は良い。

《企業3》

ストレス耐性能力と書いてあるが、物事に耐えられる忍耐力は非常に大事である。また、学業の知識だけでなく学業以外で学んだ経験をしている学生はプラス評価である。なお、人前で発表やグループワークといった能力も大事なので面接練習を多くしている学生も大事。

《企業4》

コミュニケーション能力は必要であり、その他に、弊社の業務や仕事の性質をよく勉強して学んでいる学生は良い。また、自分自身の長短所をしっかり理解して行動している、短所については克服しようとする力がある、克服できる学生は評価が高い。

《企業5》

弊社が掲げる「明るく、正しく、たくましく」である為、明るくない学生は難しいと感じる。また、世代の違う方とのコミュニケーションについても会社では必要の為大事にしている。そういった経験や学習をして対応してほしい。

《企業6》

人と人との関係性が大事になる為、やはりコミュニケーション能力に優れている学生が伸びると感じる。また、自分で考え自分自身で行動できるポテンシャルの高い学生を探している（自律自走心）。

《企業7》

学生はまだ20歳前後であり、どうしても若くて幼いので知識や行動を見ることも大事ではあるが、本人の前向きな発言や意欲的な姿勢、行動を見て判断して検討することが多い。

《企業8》

弊社はITの会社でありどうしてもスキルは必要になってくるが、その他に、弊社にどれだけの興味があるか、仕事に関して楽しさを感じないと仕事を長く続けていくことはできないし、スキルも向上していかないので、仕事に対する意欲等を判断して決めたい。

総評(学長)

お忙しい中、大変貴重なご意見をいただいた。
今回の意見交換会で企業の方々が言われた言葉には福工大短大が飛躍する為の「ヒント」をいただいたと感じる。このヒントをもとにこれから教職員一同頑張っていきたいと思っている。

以上